



令和6年1月23日
北区立さくらだこども園

新しい一年が始まり、早くも一ヶ月が過ぎようとしています。はな組の子どもたちは、少しずつ“友達と一緒に”が楽しくなり、触れ合いを喜んだり、友達や保育者と一緒に正月遊びやごっこ遊びを楽しんだりしています。

寒さが厳しい季節になりましたが、子どもたちは戸外に出て、保育者や友達と追いかけてこや長縄跳びをして体を動かして遊んでいます。「寒い」と言う幼児もいますが、みんなで体操をしてから戸外に出たり、保育者と一緒に体を動かすことに誘ったりして、「寒いけれど体を動かすと温まる」と子どもたち自身で感じることを大切にしています。寒さが厳しい季節ですが、戸外でも遊びながら、この季節ならではの体験ができるようにしていきたいと思います。

正月遊び・凧揚げ



日本の伝統的な遊びに触れる体験をしてほしいという思いから、こども園では、手回しゴマ、絵合わせ、福笑い、凧揚げなどの正月遊びを取り入れています。

年末から取り組んでいるコマ回しでは、繰り返し取り組んできたことで、少しずつ回せるようになってきて、自分でできた嬉しさを感じたり、「紙テープを貼って回したら空を飛ぶかもしれない」とコマに紙テープや画用紙を貼って回すことを試してみたりする姿が見られるようになってきました。絵合わせでは、保育者や友達と一緒に遊ぶ中で、遊び方が分かって楽しく取り組めるように言葉を掛けています。絵を見ながら同じ札を集めることを楽しむ姿もありますが、少しずつ本来のルールで、取った札の枚数を保育者や友達と競う姿も出てきました。正月遊びを通して、日本の文化に触れながら、保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしています。また、順番を待つ、きまりを守るなどのルールがあることを知り、「ルールを守って遊ぶとみんなが楽しい」と感じられるようにすることも大切にしています。

1月中旬には凧を作り、凧揚げをしました。園庭で年中児と年長児が凧揚げをする様子に関心をもっていたはな組の子どもたち。自分の凧ができると元気に走り回り、「見て見て」「揚がったよ」とうれしそうにしていました。その中で、風で凧がふわっと浮いたり、風で動いたりする面白さも感じながら繰り返し楽しんでいました。



ぴったり合うカードはどれかな



みんなで絵合わせ
やってみよう



風が吹くと浮くんだよ



凧が揚がったよ！



思い切り走ると
よく揚がるよ！

今おさえたい生活習慣 ～自分の物は自分で～

いよいよ、あと2ヶ月で進級です。少しずつ、ほし組やにじ組になることを楽しみにする姿も出てきているように感じます。自分が大きくなったことにうれしさを感じながら、進級に向けて「自分のことは自分でしよう」という気持ちが、さらにもてるようにしていきたいですね。自分のことを自分でするのは、主体的に生活する気持ちの基になります。

○自分の荷物は自分で持っていますか？

リュックや絵本袋などの自分の荷物は、子どもが自分で持つようにしましょう。自分の物を持つことで、少しずつ力も付いていきます。また、自分の持ち物であるという認識ができるため、どこに置いたか、片付けたかも自分で把握できるようになります。

○帽子を被って登園していますか？

年中児になると、園服を着て、園帽子を被って登園することになります。はな組の今は、園服や園帽子はありませんが、ピンクのカラー帽子を被って登園することになっています。帽子を被ることを習慣としていくためにも、今から毎日被って、登降園するようにしましょう！また、園服にはボタンが付いており、自分で脱ぎ着をするようになります。ご家庭でも、少しずつボタンの留め外しをする機会をつくるようにしてみてください。初めのうちは、部分的に手を添えてやり方を伝えながら、自分でできるようにしていきましょう。



○持ち物は親子で一緒に準備しましょう

ハンカチやタオルなどを忘れたときに、「お家の人忘れちゃった」という声が聞かれます。自分で持ち物をリュックに入れることで、持ち物への意識がもてるようになります。まずは、親子で一緒に持ち物の準備をしてみてください。仕方が定着するまでは、お子さんが一人で準備をしても、最後は保護者の方が確認をお願いします。

また、最近ポケットにハンカチが入っていない子が多くいます。お子さんと一緒にハンカチが入っているかの確認をお願いします。



おたんじょうびおめでとう